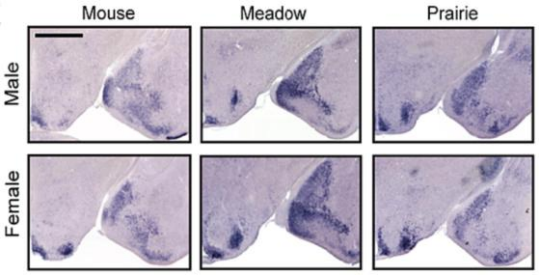
ピックアップ！内分泌研究者

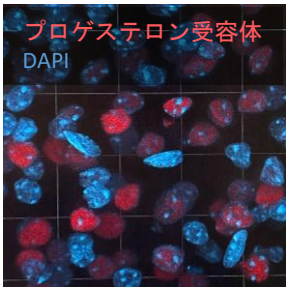
File No. 0057

名前	山田 晃熙（ヤマダ コウキ）
所属	Cold Spring Harbor Laboratory
職種・学年	Postdoctoral fellow
実験動物	マウス
好きな実験	in situ hybridizationなどの組織学
趣味	料理
Homepage	https://www.tollkuhnlab.org
ひとこと	ニューヨークの冬はとても寒いです。
研究紹介	マウスを用いて性ホルモンの脳内での作用機序を回路・エピゲノムレベルで研究しています。特に、性差・性周期・更年期などに興味をもって研究しています。また、当研究室では"一夫一妻システム"をもつユニークなハタネズミを用いて比較行動神経内分泌学を研究しています。
トピック1：研究室の魅力	研究員一人ひとりが異なる専門性を持ち寄って、一緒にプロジェクトを進めていくのが魅力です。また、近隣ラボのPIやポスドクたちに自発的に実験の相談をして自身の研究を進められるオープンな環境がとても気に入っています。
トピック2：目標、チャレンジしたいこと	現在、snRNA-seq, ATAC-seq, CUT&RUNなどのゲノミクスアプローチを用いて神経科学研究を行っています。今後は、PhD研究時のバックグラウンドである神経内分泌研究にこの手法を組み合わせたプロジェクトにチャレンジしたいです。

マンハッタンから電車で１時間ほど離れたエリアに研究所があります。入江に面した自然豊かな環境の中にキャンパスがあり、カラフルな建物が立ち連なっているのが印象的です。



In situ hybridizationを用いた
脳内性ホルモン受容体遺伝子発現の
性差・種差の解析
(Denney et al. 2023)



核内受容体である性ホルモン受容体は主に転写因子として機能します。その作用機序を組織学・ゲノミクス・AAVなどの神経科学的な手法を用いて研究しています。